



原子力機構週報

(9/1 ~ 9/7)

原子力機構近況

- 原子力機構は、東京電力福島第一原子力発電所事故に関してさまざまな活動を行っております。当該活動の全般的な内容については下記に掲載しております。
<http://www.jaea.go.jp/fukushima/index.html>
- 21世紀の科学技術を飛躍的に発展させるために、科学技術のフロンティアを拓くような創造性に富み、発想の豊かな意欲にあふれる若手研究者「平成25年度博士研究員」の募集を開始いたしました。(締切：H24/9/21 必着)
詳細は、<http://www.jaea.go.jp/saiyou/internship/internship30.html>
採用された若手研究者は、原子力機構の各種施設を可能な限り活用でき、受入研究グループの研究者から研究遂行上の必要な助言・支援を受けることができます。さらに、優秀な研究業績を挙げられた方については、定年制職員登用の道があります。
- 8月31日(金)、平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえ、平成24年8月を目途に評価結果を報告することとしていた平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価のうち津波の影響評価について、現在、地震・津波に関する意見聴取会において平成23年東北地方太平洋沖地震に伴う津波に係る審議が継続中であること等から、その審議状況を踏まえ評価を行い、10月を目途に報告することを発表いたしました。
- 9月3日(月)、原子力教育大学連携ネットワークにおいて、集中講座の新規科目「原子力の安全性と地域共生」を、平成24年9月10日から9月13日までの間、福井大学にて開講することを国立大学法人金沢大学、国立大学法人東京工業大学、国立大学法人福井大学、国立大学法人茨城大学、国立大学法人岡山大学及び国立大学法人大阪大学と共同発表いたしました。
- 9月4日(火)13:30~14:50、日本青年館ホテル中ホール(東京都新宿区霞ヶ丘町7-1)において、ワークショップ「核セキュリティ強化のための外部機関との連携」を開催いたしました。
- 9月5日(水)、経済産業省からの「敷地内破砕帯の追加調査計画の策定について(指示)」(平成24年8月29日付け)の指示に基づき、「もんじゅ」における敷地内破砕帯の追加調査の実施計画について取りまとめた実施計画書を、原子力安全・保安院に提出したことを発表いたしました。
- 9月6日(木)、石原慎太郎東京都知事が高速増殖原型炉もんじゅを視察されました。



- 9月6日(木)、東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所 再処理施設 分析所の非管理区域で汚染が検出されたことを発表いたしました。
- 9月13日(木)13:45～16:45、航空会館5階 501&502会議室（東京都港区新橋1-18-1）において、「福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の長期的影響把握手法の確立に向けた検討会（第2回）」を開催いたします。本検討会は、どなたでも傍聴いただけます。詳細については別添をご覧ください。

各研究開発拠点等のトピックスについて

- 小中学生向け放射線教室「君もほうしゃせん博士になろう！」を開催いたしました。（大洗 9/1、9/2）
- 「第54回ITER機構職員募集説明会」を開催いたしました。（核融合研究開発部門 9/3～9/7）
- 「第55回ITER機構職員募集説明会」を開催いたします。（核融合研究開発部門 9/10～9/12 予定；金沢大学）
詳細は、<http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/recruit%20meeting/recruitmeeting.html>
- 「第56回ITER機構職員募集説明会」を開催いたします。（核融合研究開発部門 9/19～9/21 予定；広島大学）
詳細は、<http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/recruit%20meeting/recruitmeeting.html>
- 「国際核融合エネルギー研究センター施設公開」を開催いたします。（青森 9/22 予定）
詳細は、<http://www.jaea.go.jp/04/aomori/news/news-20120910.html>
- 幌延深地層研究センターの施設見学会を開催いたします。（幌延 9/23 予定）
詳細は、http://www.jaea.go.jp/04/horonobe/kengaku_sunday.html
- 瑞浪超深地層研究所の施設見学会を開催いたします。（東濃 9/29 予定）
詳細は、http://www.jaea.go.jp/04/tono/kengaku/kengaku_miu2.html
- 「核融合施設見学会」を開催いたします。（那珂 9/29 予定）

各研究開発拠点等のその他の状況について

- 別紙のとおり

【本件に関する問い合わせ先】

独立行政法人日本原子力研究開発機構

広報部 報道課長代理

藤原 利如

TEL 03 (3592) 2346

独立行政法人日本原子力研究開発機構

人形峠環境技術センター

総務課長

小椋 幸男

TEL 0868(44) 2211 [代表]



原子力機構 HP: <http://www.jaea.go.jp>

原子力機構携帯 HP: <http://www.jaea.go.jp/i/>

メルマガ登録: http://www.jaea.go.jp/14/14_0.html

各研究開発拠点等のその他の状況について

1. 人形峠環境技術センター

- (1) ウラン濃縮原型プラント：滞留ウラン除去・回収試験設備停止中
- (2) 濃縮工学施設：パイロットプラント遠心機処理設備運転中（4/18～9/28 予定）
- (3) 製錬転換施設：硝酸廃液処理試験設備停止中
製錬転換施設内の設備機器等解体・撤去作業下期分準備中

2. 本部

- ・ 地震による施設の復旧作業中

3. 東海研究開発センター

○地震による施設の復旧作業中

1) 原子力科学研究所

- (1) 施設運転状況
 - ・ 研究炉(JRR-3)：施設定期検査中（H22/11/20～）
 - ・ 研究炉(JRR-4)：施設定期検査中（H22/12/27～）
 - ・ 原子炉安全性研究炉(NSRR)：施設定期検査中（H23/9/1～）
 - ・ 過渡臨界実験装置(TRACY)：施設定期検査中（H23/11/30～）
 - ・ 定常臨界実験装置(STACY)：施設定期検査中（H23/11/30～）
 - ・ 軽水臨界実験装置(TCA)：施設定期検査中（H23/1/11～）
 - ・ 高速炉臨界実験装置(FCA)：施設定期検査中（H23/8/1～）

2) 核燃料サイクル工学研究所

- (1) 再処理施設
 - ・ 施設定期検査中（H19/7/30～）
 - ・ 施設の点検中
- (2) プルトニウム燃料開発施設
 - ・ MOX 燃料に関する研究開発等を実施中

4. J-PARCセンター

- (1) 大強度陽子加速器施設(J-PARC) 運転状況等
 - ・ 地震による施設の復旧作業中
 - ・ 夏期メンテナンス作業中（7/2～）
 - ・ いばらき量子ビーム研究センターにおいて、J-PARC の物質・生命科学実験施設に建設されたビームライン「SPICA(中性子特殊回折装置)」の完成記念式典を開催。（9/4）

5. 大洗研究開発センター

○地震による施設の復旧作業中

- (1) 原子炉施設
 - ・ 材料試験炉(JMTR)：第 35 回施設定期検査中（H18/9/1～）
 - ・ 高速実験炉「常陽」：第 15 回施設定期検査中（H19/5/15～）
 - ・ 高温工学試験研究炉(HTTR)：第 5 回施設定期検査中（H23/2/1～）
- (2) 照射後試験施設
 - ・ 燃料及び材料の研究開発のための照射後試験実施中

6. 敦賀本部

1) 高速増殖炉研究開発センター

- (1) 高速増殖原型炉もんじゅ：性能試験中（H22/5/6～）

2) 原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん)

- (1) 廃止措置作業中(使用済燃料搬出期間)
 - ・ 原子炉冷却系統施設（復水器中部洞等）解体撤去工事（8/29～）
 - ・ 重水系ヘリウム系等の汚染除去工事(カランドリアタンク及び重水冷却系、重水浄化系等の重水回収及びトリチウム除去)（H21/1/26～）
 - ・ 第 25 回定期検査（9/1～）

7. 那珂核融合研究所

○地震による施設の復旧作業中

- (1) 臨界プラズマ試験装置(JT-60) : 装置停止中、一部機器の点検整備実施中、JT-60SA に向けた既存装置の解体・改造準備実施中、高周波加熱装置の試験を実施 (5/17~10/12 予定)、負イオンビームの長パルス調整試験を実施 (9/5~12/28 予定)

8. 高崎量子応用研究所

- (1) イオン照射研究施設(TIARA)
 - ・ サイクロトロン : 施設定期整備中 (7/13~9/7)、タンデム加速器 : 運転中、シングルエンド加速器 : 運転中、イオン注入装置 : 運転中
- (2) コバルト 60 照射施設
 - ・ 第 1 照射棟 : 運転中、第 2 照射棟 : 運転中、食品照射棟 : 運転中
- (3) 電子線照射施設
 - ・ 1 号加速器 : 運転中

9. 関西光科学研究所

1) 木津地区

- (1) 高強度場生成 T3 レーザー(J-KAREN) : 運転中
- (2) X線レーザー実験装置 : 運転中

2) 播磨地区

- (1) 大型放射光施設(SPring-8) : 夏期運転停止 (7/19~9/23)、第 4 サイクルは 9/24~予定

10. 幌延深地層研究センター

- (1) 幌延深地層研究計画地下施設(研究坑道)工事 (500m 掘削予定) : (9/7 現在)
 - ・ 立坑掘削作業
 - 東立坑 (維持管理) : 掘削深度 350.5m
 - 換気立坑 (維持管理) : 掘削深度 350.5m
 - 西立坑 (立坑掘削覆工) : 掘削深度 139.0m
 - ・ 水平坑道掘削作業
 - 深度 140m 水平坑道 (維持管理) : 掘削長 183.5m
 - 東立坑 210m ポンプ座 (維持管理) : 掘削長 11.1m
 - 深度 250m 水平坑道 (維持管理) : 掘削長 188.1m
 - 深度 350m 調査坑道 (坑道掘削覆工) : 掘削長 168.2m

11. 東濃地科学センター

- (1) 瑞浪超深地層研究所 研究坑道の掘削工事 (1,000m 掘削予定)
 - ・ 立坑掘削作業 : (9/7 現在)
 - 主立坑 (掘削中) 掘削深度 500.4m、換気立坑 (掘削中) 掘削深度 500.2m
 - 坑内外設備の維持管理
 - ・ 水平坑道 (深度 500m) 掘削作業 (H23/4/21~)
- (2) 瑞浪超深地層研究所からの排水
 - ・ 排水処理設備 : 放流を実施中

12. 青森研究開発センター

- (1) 加速器質量分析装置 AMS による分析業務及び分析技術開発 (むつ地区)
 - ・ 海水試料中のヨウ素(I-129)を測定中
 - ・ 少量炭素試料(C-14)の分析技術開発を継続中
 - ・ 環境試料中放射性ヨウ素(I-129)の分析技術開発を継続中

以上

「福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の長期的影響把握手法の

確立に向けた検討会（第2回）」の開催について

1. 日 時 平成24年9月13日（木） 13:45～16:45
2. 場 所 航空会館 5階 501&502会議室
（東京都港区新橋1-18-1）
3. 出席予定者 委員長 百島 則幸 九州大学 アイソトープ総合センター 教授
委員 池内 嘉宏 公益財団法人 日本分析センター 理事
委員 恩田 裕一 筑波大学 大学院生命環境科学研究科 教授
委員 高橋 知之 京都大学 原子力基礎工学研究部門 准教授
委員 村松 康行 学習院大学 理学部 化学科 教授
他
4. 議題（予定） (1) 第3次分布調査の進捗状況について
(2) 第2次分布調査の結果について
(3) 放射性物質の分布予測モデルの確立について（※）
(4) その他
（※）議題3以降については非公開で行う。
5. 傍聴者席 20席
6. 傍聴者受付
(1) 傍聴を希望される方は、9月10日（月）17時までに、日本原子力研究開発機構・福島技術本部まで、FAX（03-5157-1950）にて、氏名及び連絡先を明記の上、お申し込みください。また、当日は氏名を確認できるものを持参してください。
受付は、基本的に申し込み順としますが、多数の傍聴希望者があった場合には、会場の都合上抽選となる場合もあります。やむを得ず抽選でもれた方のみ、こちらから前日に連絡させていただきます。
(2) 報道関係者で傍聴を希望される方は、9月10日（月）17時までに、日本原子力研究開発機構・福島技術本部まで、FAX（03-5157-1950）にて、氏名と所属機関名を登録して下さい。また、報道関係者は、原則として1社につき1人とし、入場の際には社名入り腕章を携帯して下さい。

連絡先： 独立行政法人日本原子力研究開発機構（代表 03-3592-2111）
福島技術本部 福島環境安全センター